

- ・D谷からの流入路を追加すること。また上流側のポリエチレン管多孔管の呑み口処理（2号かご枠）について明示すること。
- ・3号かご枠工について、VCCOは残置することとなるため、その配置を再考すること。

5. 排水補強パイプ詳細図について

- ・排水補強パイプの計画内容（径、本数、打設角度など）の決定根拠について、明確にしておくこと。

<数量計算書>

- ・高強度ネット部材表の数量について、ロール数も踏まえたロス率も考慮し、見直すこと。
- ・鉄筋挿入工について、カップラーを計上するとともに、図面も添付すること。

<その他>

- ・本復旧設計に採用した工法や材料等について、安全性・経済性・施工性・景観性・環境性・今後の維持理や文化財保護等の観点から、決定根拠が合理的であることを整理し、取り纏めること。

以上